

管理栄養学科（共通科目）

【沖縄大学の理念と共通科目】 沖縄大学の基本理念である「地域共創・未来共創の大学へ」を実現するために、他者との対話と協働を通じてより良い社会を作っていく力（共創力）を身に付けるための基礎を養成します。

【共通科目の学習・教育目標】 複眼的・総合的思考を可能とする幅広い教養を身に付けるとともに、他者と対話しながら主体的に学ぶことのできる能力（汎用的能力・ジェネリックスキル）を修得します。

○幅広い教養・・・「沖縄関連」「総合」「人間・社会」「自然・環境」の科目群を通じて身に付けます。

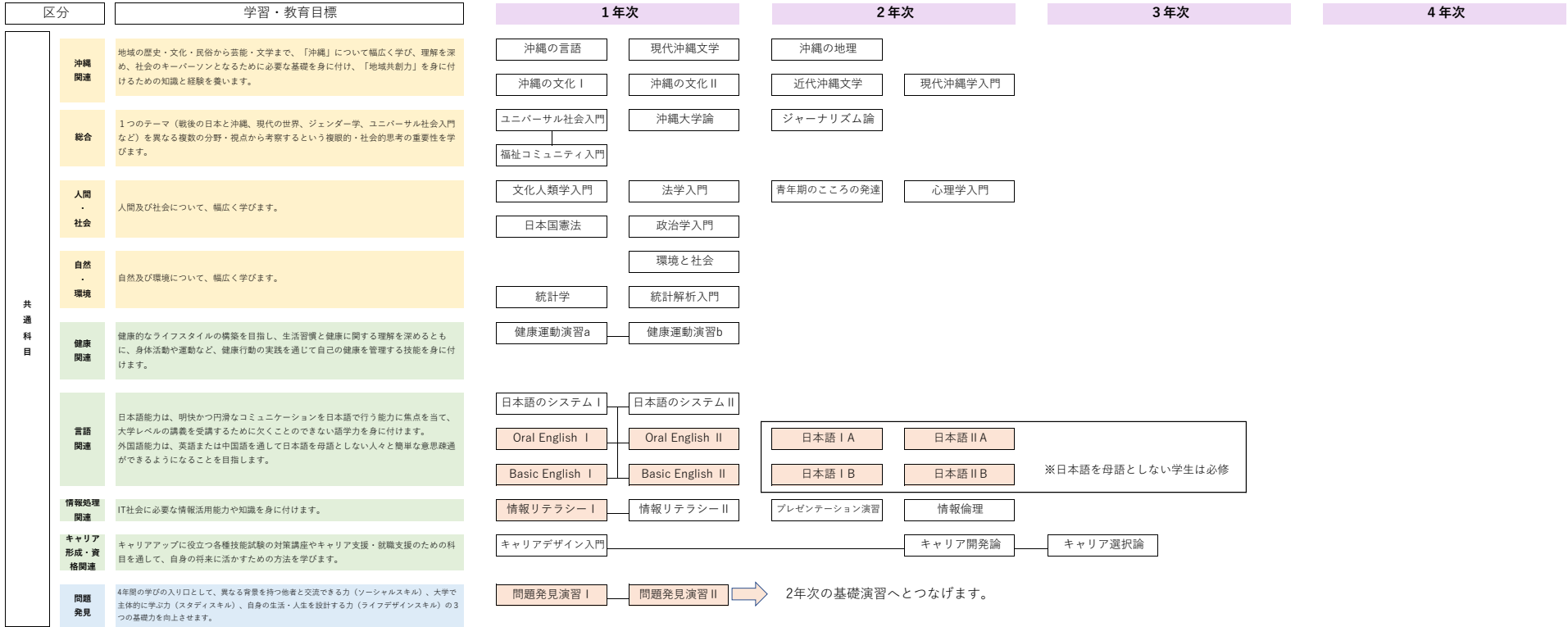
多様性を理解・受容できる能力、ものごとを複眼的・総合的に考える能力を身に付け、共創力の基礎となることを目指します。

○汎用的能力・・・「健康関連」「言語関連」「情報処理関連」「キャリア形成・資格対策」「問題発見演習」の科目群を通じて身に付けます。

健康管理能力、日本語・外国語能力、情報活用能力等、どの分野を専攻する上でも必要となる汎用的能力（ジェネリックスキル）を養成することを目指します。

必修

選択必修



管理栄養学科（専門科目）

学習・教育目標

- 学習・教育目標は、大学の教育の理念を踏まえ、「地域に貢献した健康福祉に関する卒業生に専門的な知識を習得する」という目標を掲げ、直にその健康の保持増進並びに高齢者福祉のための栄養管理や栄養教育の充実である「管理栄養士」を養成する。
- 卒業生が大学で学ぶべき専門分野に必要とされる専門知識・スキル・ポリシーを下記に記述する。
- (1) 幅広い教養と基礎的・総合的な思考力
- 幅広い教養を修得し、基礎的・総合的な思考のもとに、社会倫理の原則・科学的原則に基づいた「栄養の保障」ができる。
- (2) 健康への理解力
- 人々の健康・人権を尊重し、社会生活を理解し、互いを理解し、また、常に自らを律し、人々の健康に努めることができる。関連職種や関連機関と連携・協働して、人々の健康および生活の質（QOL）の向上に寄与できる。
- (3) 専門知識・技術の応用力
- 栄養学および「食」の分野のリーダーとして社会の幅広いフィールドで活躍できる技能を習得し、自らの専門性と他の関連職種の役割を認識し、連携・協働してチーム医療を実現できる。
- (4) 地域貢献力
- 地域社会の発展、発展、歴史の発展を踏まえた食と健康の関わりについて調査・応用し、栄養学はもとよりアジア・太平洋地域の公衆衛生の向上に寄与できる。
- (5) 主体的な学習力
- 管理栄養士・栄養士として高度な専門知識を基盤にわたって主体的に学習し、社会貢献できる。

区分	学習・教育目標
入 専 分 門 野 導	食と栄養のそれぞれの専門分野についての基礎知識・基礎理論を学び、学生自らの専門性を高め、探究することを目標とします。
	基礎理論の深い専門職としての基本的な学習、沖縄地域の食と健康の関係を探究・応用し公衆衛生の向上に寄与することを目的とします。
専 門 基 礎 分 野	沖縄県民の健康・栄養問題および関連要因の把握、課題分析を行い、関係者・関係機関の横断的な連携・協働を促進し、健康・栄養施策の計画立案、実施、モニタリング、評価（測定）、フィードバックを行う能力、高度な公衆栄養管理能力を培い、栄養分野の立場から沖縄県の公衆衛生の向上に貢献できることを目標とします。
	主体の構造と機能を理解することは、栄養学的・医学的な専門科目を学ぶ基礎となり、栄養学からヒトの健康に関わる管理栄養士にとって必要であり、栄養学や医学的な科目の習得の足場となります。さらに、正常な主体の構造や機能が破綻した状態である疾病を理解することを目的とします。
	それぞれの食品素材の特徴や栄養学的特徴、および利用法等について基本的な事項を学び、沖縄特有の食品についても栄養学的特徴や利用法等を学習します。
専 門 科 目 分 野	ヒトが食べることの意義、健康と栄養、健康の維持・増進、疾病予防へ活用できる基礎知識を習得します。
	基本的栄養管理の考え方をベースに、人間のライフサイクルにおける、各ステージ別の生理的変化・身体的・精神的変化の特徴を理解し、さらに個々の対象者の生活環境、身体状況や栄養状態に応じた健康増進のための栄養管理のあり方を習得します。
	栄養教育に関わる理論やモデル、カウンセリング技法を学び、栄養評価、栄養診断、栄養教育プログラムの計画、実施、実施結果の評価、プログラムの再立案など、栄養教育の意義と特性、栄養教育マネジメントサイクルなど、一連の栄養教育を実践できる知識と能力を培います。
	医療、福祉分野で栄養や食の観点から支援する専門職としての職業倫理観を培い、また医療チームの一員として臨床分野における栄養マネジメント業務の遂行能力を養います。
	地域社会の健康・栄養問題および関連要因の把握、分析を行い、健康・栄養施策の計画立案、実施、モニタリング、評価、フィードバックまでの一連の公衆栄養活動を学び、理論を實習し公衆栄養管理能力の習得を目標とします。
	給食運営に関する資源を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養うことや、マーケティングの原理を応用し理解するとともに、組織管理等のマネジメントの基本的な考え方や方法を取得します。
	栄養のプロフェッショナルとして総合的実践能力を身につけることを目指します。
卒業研究	臨地実習は、講義・実験・実習、演習などの授業で学修した成果を、管理栄養士の職務である保健、医療、福祉、教育などの現場における実践的トレーニングの第一歩です。現場で、実際に業務を体験し、臨地での課題の発見や目標達成に向けて関連職種との協働関係を構築することができるように、関連職種に関する基本的な知識を学習するとともに、管理栄養士の職務について総合的に理解することを目的とします。
	卒業研究
栄養教諭免許関連科目	栄養教諭免許関連科目

学習・教育目標

沖縄の置かれた自然的、地理的、歴史的特長を踏まえ、専門的知識と最新技術を修学します。また、自ら問題を提起し、解決、発展させる能力、さらに豊かな人間性・倫理観を兼ね備え、社会的要請に対応できる管理栄養士、栄養教諭を育成します。

実験・実習

必修

選択必修

